

第2回「歴史と文化が薫るまちづくり事業」検討委員会での委員ご意見（要約）

※文責 事務局（地域振興課）

地区	委員名	意見
全般	高須委員	<ul style="list-style-type: none"> 案内看板は文字数が多くなりがちで、要約されていないものが多い。子どもにも分かりやすいものになるよう配慮したほうがよい。
滑川市	羽根委員	<ul style="list-style-type: none"> 「灯りがつなぐ町と街道」は、イメージをつくりやすいよいキャッチフレーズだと思う。 コロッケやパンじゅうなど食文化の復活も興味深い。 ほたるいかなど海の幸の活用がまだ弱いような印象を受けた。 若い人達を巻き込みながら、ワークショップを重ねることでまちづくりに参加してもらう仕組みができるとよい。
	上野委員	<ul style="list-style-type: none"> 銅板製で屋号の入った灯籠形の看板が、この時代の町並みに共通して見られる。そのような看板が、街灯を兼ねて常時点灯されていれば、よい雰囲気になるのではないか。 廣野医院等の既存の建物を活用して、岩城庄之丈等の地域の偉人に関する企画展示をしてはどうか。 小沢家もこの事業を活用して修繕してほしい。
	大坪委員	<ul style="list-style-type: none"> 海岸沿いを歩くツアーを企画しているNPOがあるので、連携してはどうか。 レンタサイクルを取り入れる市町村が増えているので、連携して、乗り捨てやりレーツアーの実施を検討してはどうか。
	高須委員	<ul style="list-style-type: none"> 宿場回廊説明サインに灯りを設置して常時点灯してはどうか。
	本川委員	<ul style="list-style-type: none"> タラソピアは東京や名古屋から訪れる人がいる。幅広い年齢層を取り込むためにも新しい施設もうまく取り込んでほしい。
	福島委員	<ul style="list-style-type: none"> 自然との共生を歴史・文化と絡めて進めればよいものになるのではないか。
上市町	羽根委員	<ul style="list-style-type: none"> 海外の人にも魅力的な景観だと思う。 案内板だけでなく、将来的には、情報発信も海外対応を意識してほしい。
	本川委員	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生の宿泊体験は、将来の誘客に効果があると思われるので、誘致推進が盛り込まれているのはよいと思う。
	上野委員	<ul style="list-style-type: none"> 木造3階建ての旅館は珍しく、ポスターにするだけでも全国から評価されるのではないか。 溪谷美は貴重な財産であり、下の橋から見通すことができると誘客に効果があると思う。
	大坪委員	<ul style="list-style-type: none"> 温泉の活用については期待している。 地域の食については、試食会を開いてアイディア出しをしてはどうか。

地区	委員名	意見
朝日町	上野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹川地区は福井県の一乗谷遺跡の雰囲気とよく似ている。 ・ このあたりには中世の遺構が眠っているはずである。 ・ 個別の資源だけでは人を引き付ける魅力にはならないので、土蔵も含め、エリア内に点在している資源を散策ルートマップで繋ぐことが大切。 ・ 鹿島神社の彫刻は素晴らしい。また、宮崎城跡の魅力はその景観にある。マップを作成する際にはそれぞれの資源の最も魅力的な部分の写真を掲載すべき。 ・ ハード事業も積極的に実施すべき。
	高須委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎太郎の認知度を上げるのが大事。 ・ 女性や子ども、高齢者が安全に散策できるような配慮が必要。
	本川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元を盛り上げる人づくりが大事。ボランティアガイド育成は平成 25 年からといわず、早く始めたほうがよい。